

新中だより

令和4年12月21日
新庄市立新庄中学校
連絡先 TEL22-1555
文責 永井 康博

熱唱～最高の感動をありがとう～

コロナ感染拡大防止のために約1ヶ月半延期になった合唱祭を、12月8日に文化会館にて開催しました。延期になったためにモチベーションの持っていき方や保ち方が大変だったと思いますが、各クラスともに合唱委員や指揮者、伴奏者を中心によく頑張ってくれました。また、平日開催となり保護者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしましたが、地域の方も含めてたくさんの方に参観いただきました。たくさんの拍手や心の中での温かいご声援、本当にありがとうございました。

1年生の合唱は、クラスの全員が一生懸命に歌う姿に感動しました。思春期で変声期を迎え、なかなか声が出にくい人も多かったのだと思いますが、「自分のパートをしっかりと歌うこと」を意識して練習してきた成果が出ていました。男子も女子もこれから声が落ちていきますから、今の1年生の頑張るぞという気持ちがあれば、さらに素敵な合唱ができると思います。来年、再来年が楽しみです。

2年生は、学級の人数が少ないというハンディもありますし、なかなか本気になれず、本番まで間に合うのか、と心配になったときもありました。でも日がたつにつれどんどん声量が出て真剣さも増しました。自分たちの殻を打ち破って成長していく様子がとても頼もしく感じました。来年は、さらに声が落ちてきて、さらに上の合唱が期待できます。ぜひ、そのすばらしい歌声を響かせ、新庄中学校の伝統をつなぎ、上を上を目指していきましょう。

3年生は、A組とB組のどちらも最後の合唱祭にかける熱い思いを持ち、心を一つに合唱を作り上げてくれました。どちらのクラスの合唱も素晴らしかったし感動しました。「最後、みんなで作り上げた合唱を楽しく笑顔で歌いきること」ができたのではないのでしょうか。3年生の合唱はどちらのクラスも歌詞の意味を客席に届けようとする努力が伝わってきました。特に、気持ちの上がり下がり伝えるために、強弱の工夫がなされ、メリハリのある生き生きとした曲に仕上がっていたのには、本当に感心しました。ありがとうございました。

練習の過程で悩み苦しみながらも、最後は心を一つにして合唱を作り上げてきたクラスや学年は、そこから更に素晴らしい絆を結んでいきます。取り組みの過程が人の心を育てていくのです。今後の学校生活に期待します。



年末・年始休業の行事と家族との会話

1年間で一番長い2学期も今週で終わり、来週から約2週間の年末・年始休業になります。期間は短いですが、1年の終わりと始まりを経験する大切な時期です。1年の終わりとして、ご家庭では大掃除や片付けをしたいと思います。これは、1年間の終わりに掃除をしてきちんときれいな家庭で新年を迎えたいとする昔からの風習です。ぜひ、片付け等をするときは子どもたちにも手伝わせてください。きれいに掃除をした後は、家の中に飾ってあるしめ縄を新しくしたり、玄関に門松を飾ったり新年を迎える装飾をします。鏡餅を飾り、年越しそばを食べるときには、今年1年の中で、頑張ったことを各家庭で出し合って、子どもたちをたくさん褒めてあげてください。

大晦日、除夜の鐘が鳴り響く中、新しい年が始まります。元日は、昔から日本人が1年のうちで一番大切にしている日です。年賀状には元旦と書きます。元旦とは元日の朝という意味です。年賀状は1月1日の朝に着くのが礼儀と言われているので元旦と書きます。三が日は、元日から3日間のことを指します。この間に、家族で初詣に出かけたり、親族が集まったりします。年末・年始は、家族みんなで一緒に食事をしたり出かけたりすることがたくさんありますから、ぜひその機会に学校で会ったことや新年の抱負などを話し合ってください。